

京都市立総合支援学校高等部 令和 6 年度末卒業生の進路状況について

京都市立総合支援学校では、生徒の社会的自立を目指した教育活動として、年間約 700 回の職場実習や地域協働活動の取組を積極的に実施しています。とりわけ、職業学科では、学校での学習と企業での長期的な実習を組み合わせた「デュアルシステム」を導入し、3 年間で約 30 週間の職場実習を実施しており、**今春の卒業生は全校で計 68 名が就職（就職率 32.7%）※【うち職業学科 59 名（就職率 66.3%）】**することとなりました。

※全国平均（令和 5 年度卒：29.6%）

<令和 6 年度 総合支援学校高等部卒業生の進路状況>

	普通科						職業学科			合計	比率
	北	北分校	東	西	呉竹	鳴滝	白河	東山	鳴滝		
卒業者数	20人	4人	31人	33人	31人	0人	30人	36人	23人	208人	—
全体就職者数	0人	0人	3人	3人	3人	0人	21人	27人	11人	68人	32.7%
うち、職業学科のみ	—	—	—	—	—	—	(21人)	(27人)	(11人)	(59人)	66.3%
就労移行支援・進学 (高等技術専門校等)	0人	1人	0人	3人	4人	0人	5人	1人	3人	17人	8.2%
就労継続支援 A 型	0人	0人	4人	0人	0人	0人	2人	2人	4人	12人	5.8%
就労継続支援 B 型	10人	2人	15人	16人	7人	0人	1人	5人	4人	60人	28.8%
生活介護・在宅福祉等	9人	1人	8人	9人	16人	0人	0人	0人	0人	43人	20.7%
その他	1人	0人	1人	2人	1人	0人	1人	1人	1人	8人	3.8%

※比率は小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

<総合支援学校高等部卒業生の進路状況の推移（過去10年間）>

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
卒業者数	181	224	213	217	225	225	207	202	212	208
就職者数	74	76	71	70	79	74	63	61	69	68
就労移行支援・進学	11	17	20	17	18	14	21	10	11	17
就労継続支援 A 型	6	7	9	7	11	6	9	12	18	12
就労継続支援 B 型	39	51	53	44	48	48	50	52	52	60
生活介護・在宅福祉等	43	62	52	68	60	73	53	60	52	43
その他	8	11	8	11	9	10	11	7	10	8

[参 考]

○主な就職先

(株)あしすと阪急阪神、(株)大垣書店、(株)キャピタル東洋亭本店、京セラ(株)、(株)三笑堂、(株)松栄堂、(株)SCREEN ビジネスエキスパート、(株)マツモト、三菱自動車ウイング(株)、村田機械(株)、(株)ムラタコスモス、(株)ライフコーポレーション、(株)ロマンライフ 等

○主な事業所等

- ・ 就労継続支援…一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上に必要な訓練を行う事業所。(A型＝雇用型 B型＝非雇用型)
- ・ 就労移行支援…一般企業等への就労を希望する人に一定期間(2年)就労に必要な知識及び能力の向上に必要な訓練を行う事業所。
- ・ 高等技術専門校…京都障害者高等技術専門校など。
- ・ 生活介護…常に介護が必要な人に入浴や食事の介護などの支援に加え、創作活動や生産活動の機会を提供する事業所。

○京都市立総合支援学校高等部職業学科の概要 (平成16年4月設置)

- ・ 白河総合支援学校「産業総合科」：専門教科「情報印刷」「農園芸」「食品加工」を設置。名刺等の作成・納品、野菜の栽培や販売、焼き菓子・パンの製造や販売などに必要な知識や技術を学ぶことを通して、働くことの「基礎・基本」や社会的・職業的自立に向けた力を身につけている。
- ・ 東山総合支援学校「地域総合科」：専門教科「福祉」として、「食品」「コミュニティ」「東山」「養正」に分かれ、地域との協働活動の取組を通して、働くことの「基礎・基本」や社会的・職業的自立に向けた力を身につけている。
- ・ 鳴滝総合支援学校「生活産業科」：専門教科「家政」「福祉」「流通・サービス」を設置。クリーニング、福祉介護、メンテナンスに必要な専門的な学習を通して、働くことの「基礎・基本」や社会的・職業的自立に向けた力を身につけている。

※H25 東山分校(H28 東山総合)の開校により、職業学科の総定員数は当初から約2倍(48名⇒92名)に拡大。

○「京都市立総合支援学校デュアルシステム」の取組

総合支援学校での授業と企業での長期的・計画的な実習を組み合わせ、学校で学んだことを企業で実際に体験する中で、企業が求める人材を育成する新たな職業教育を構築。企業等で構成するネットワークを組織し、生徒の進路開拓に向けた取組を推進している。こうした取組によって特に職業学科では、高等部在籍3年間で約30週の企業等での職場実習を実施している。

○定着率について

卒業後も2年間は教員がアフターフォローしており、直近5年間(令和元年～5年度)の定着率は、78.7%と高水準を維持している。